



借機荘の塋を背景に(写真提供・佐伯事務所)

報告ふたつ

佐伯通信

2014年5月(平成26)
第21号
発行
佐伯泰英事務所
担当/新潮社
禁・無断転載

時代小説に転じて十五年、二百冊が目前に迫った。と、書いたところでなんの意味もない。だが、自分だけの区切り、節目程度の意味はある。時代小説でなんとか小説家として延命できるかな、とほのかな自信を得たとき、数年に一度は新シリーズをと心を決めた。だが、先行したシリーズが定着すると新シリーズへの挑戦が困難になっていた。

この八月刊行で文藝春秋より『新・酔いどれ小籐次』に挑戦する。既刊『酔いどれ小籐次留書』を中断したのは、作者の不明、都合だ。それ以上でもそれ以下でもない。読者諸氏と多くの関係者に迷惑をかけたことをここに詫言する。

気持も新たに新シリーズを執筆しようと思う。もう一つの報告は、予期せぬものだった。日本建築

佐伯泰英／近刊のお知らせ

8月

6日発売予定

《文春文庫》
新・酔いどれ小籐次 1
『神隠し』
「佐伯通信」第22号が入ります。
(初版の初回出荷分にのみ挟み込み)

7月

11日発売予定

《双葉文庫》
居眠り磐音 江戸双紙 46
『弓張ノ月』

6月

12日発売予定

《光文社文庫》
吉原裏同心 21
『遺文』

夏目影二郎始末旅
【決定版】

10 役者狩り
6月12日発売予定
11 秋帆狩り
7月10日発売予定
12 鶴女狩り
8月7日発売予定

近刊・作品情報はここらでもチェックできます。

<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト 検索

2014年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと発行いたします。
(株)新潮社、(株)文藝春秋、(株)講談社、(株)角川春樹事務所、(株)双葉社、(株)光文社

新旧の廁問題

佐々木勉
「古着屋総兵衛シリーズ」担当



大黒屋矢来町支店の小僧、佐吉でございます。本書『安南から刺客』は、総兵衛様ご一行の七ヶ月にもわたる旅が終わって、江戸に無事ご帰還されます。江戸は江戸で古着大市を目前に控えその準備に大わらわです。人が大勢集まれば、「廁問題」が発生しますが、それをおりんさんのアイディアで見事に解決します。

ちなみに現代の「廁問題」といえばディズニーリゾートです。ここの廁の「個室数」をすべて数えた名著、堀井憲一郎『東京ディズニーリゾート便利帖 第2版』(新潮社)は絶賛発売中です。もうすぐ第3版が出るという噂もあります。

というわけで廁問題も解決して、古着大市は、大盛況となりますが、この古着大市が催された富沢町は現在の日本橋富沢町ですが、今でも呉服屋さんやアパレル関係の会社が多いそうです。で、この一角に鎮座します富沢稲荷神社は呉「服」の町だけに「福」が付くと、人気のスポットです、すくなくとも私の回りでは。

古着屋総兵衛影始末
【決定版】全11巻一完結 ①-⑪

新・古着屋総兵衛
【新シリーズ】続々刊行 ①-⑥

新潮文庫

学会というところが2014年度の文化賞を私に下さるといつのだ。業績の対象は、「惜機荘の修復保存と『惜機荘だより』の刊行による建築文化への貢献」だそう。時代小説をただ書き続けてきた小説家が縁あって、岩波書店別荘惜機荘を譲り受け、建物に魅了されて修復を試みた。私自身が日本建築に暗いがゆえに、惜機荘を設計した吉田五十八氏を知る建築家と関わりのあった工務店を探し、お願いしたことが業

績といえは業績か。ともあれ修復の間、職人さん方の仕事ぶりを目の当たりにでき、話を聞いたことがなんとも至福の歳月でした。その上、かような賞を頂けるとは、この惜機荘を企画した岩波茂雄と建築家吉田五十八を知る旅に出て「お土産」まで頂戴するとは、無計画の人生も悪くないか。二百冊達成を機に改めて輝を締め直します。

「佐伯通信」第22号は、8月6日刊行予定の「新・酔いどれ小籐次1 神隠し」(文春文庫)に入ります。

《光文社文庫》

「吉原裏同心」

NHK 連続ドラマ化!

6月26日夜8時スタート

NHK総合/木曜時代劇「吉原裏同心」(連続12回)

出演▶小出恵介 貫地谷しほり

野々すみ花 近藤正臣 ほか



●映像化情報●